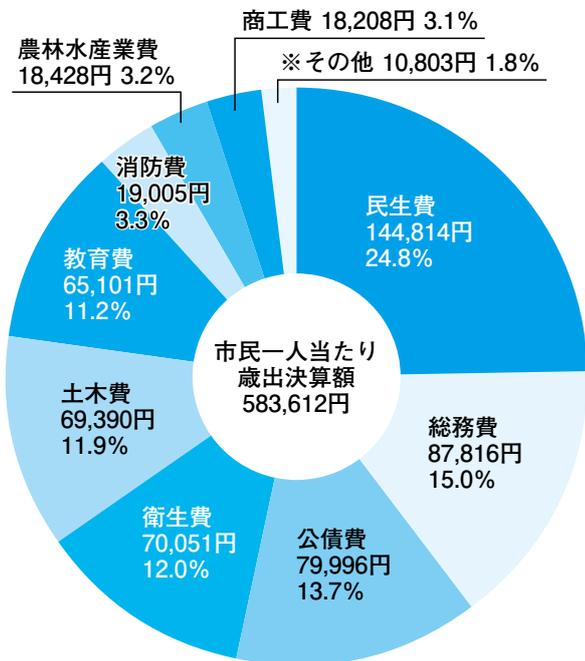


市民一人当たりの歳出決算額(構成比)

平成28年度一般会計決算額
人口83,554人(平成29年3月31日現在)



※その他…議会費・労働費・災害復旧費・諸支出金

9月定例会を、9月1日から29日まで29日間の会期で開催しました。

定例会では、6月定例会で継続審査となった豊岡市基本構想の策定、新たに市長から提案された一般会計補正予算の専決処分報告のほか、定住自立圏の形成に関する協定の一部変更や条例の一部改正、一般会計補正予算、さらに平成28年度の一般会計をはじめとする決算認定など計46件の議案について審議を行いました。

29日の本会議では、委員長報告の後、採決を行い、「豊岡市基本構想の策定について」は修正可決、その他については、原案のとおり了承、承認、可決、認定しました。また、議員提出の意見書2件も可決しました。

なお、議会改革の一環として、今期定例会から一般会計に関する予算及び決算の審査を専門的に行う「予算決算委員会」を常任委員会として設置し、より総合的に審査を行っています。一般質問の内容については6〜13ページに掲載しています。

および要望

決算認定に対する本会議での討論

市税超過課税、ごみ処理施設負担金、空港利用助成金に反対・賛成意見

反対意見(要旨)

超過課税はなくすべき

市税の調定額約108億円のうち、超過課税額は5億円を超えており、市民には大きな負担感がある。一方で、実質単年度収支は16億円の赤字、基金は230億円も

賛成意見(要旨)

都市計画税の廃止に伴う代替財源である。(会派・かがやき議員)

ごみ処理施設の長期管理契約のチェックは困難

北但行政事務組合の負担金17億円には、20年におよぶ業者との管理契約にかかる費用も含まれており、長期契約においては、契約内容のチェックが困難である。(会派・共産党おおぞら議員)

賛成意見(要旨)

長期的・適切な維持管理には適正な財源が必要

組合が運営するごみ処理施設は、運営開始後1年を経過し、長期的な視点の下に適切に維持管理されており、負担金支出は適正である。

(会派・かがやき議員)
一部の空港利用者への助成は検討すべき

但馬空港利用促進事業費は、搭乗する一部の人たちだけに大きな助成を行うもので、助成のあり方の検討が必要である。(会派・共産党おおぞら議員)

賛成意見(要旨)
大交流実現のためにはさらなる取組みが必要

但馬空港の利用者数は、昨年度、初めて3万人を突破し、東京乗り継ぎ利用者数は4年連続で1万人を超えるなど、着実に増加している。首都圏との間でより多くの人、物、情報が行き交う大交流の実現を図るため、必要不可欠な予算執行である。(会派・かがやき議員)

収納率向上により自主財源の確保を

昨年度の市税収納率は、合併以来最高値とのことだが、本市は県内で下位の収納状況との指摘がある

滞納対策アクションプランに基づき、収納率向上による自主財源の確保に努められたい。

職員の給与に関する倫理意識の喚起を

職員給与に関する扶養手当等に不当利得徴収金の返納金がある。職員に対し、給与制度の周知徹底

平成28年度12会計

決算の概況(一般会計)

(単位：百万円)

区 分	26年度	27年度	28年度
歳入総額	49,777	51,502	50,047
歳出総額	48,879	50,441	48,763
歳入歳出差引額	898	1,061	1,284
繰越額	152	227	371
実質収支※1	746	834	913
単年度収支※2	△161	88	79
積立金	1,318	1,521	1,897
積立金取崩額	38	483	366
実質単年度収支※3	1,119	1,126	1,610

※1 実質収支とは…歳入歳出差引額から翌年度に繰り越す財源を差引いたもので、実質的な決算額。市財政の黒字(赤字)の判断指標

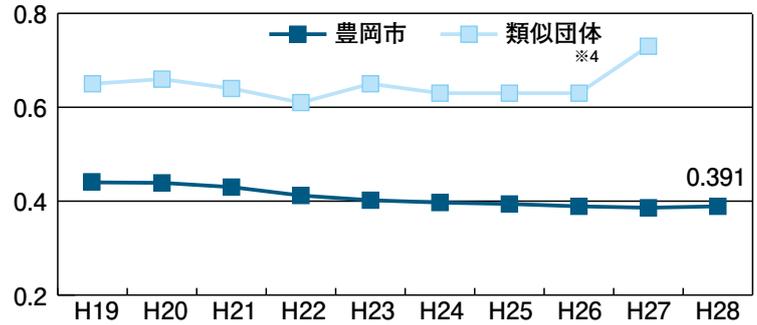
※2 単年度収支とは…当該年度実質収支-前年度実質収支

※3 実質単年度収支とは…単年度収支に実質的な黒字要素(積立金)及び赤字要素(積立金取崩)を除外した実質的な単年度収支を示す指標

※4 類似団体とは…人口規模や産業構造等が似た自治体のこと

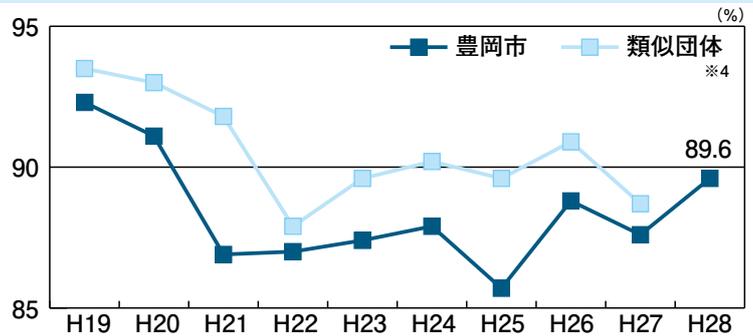
財政力指数(3年平均)の推移

自治体の財政基盤の強弱(自主財源の調達能力)を示す指標で、高いほど好ましい。



経常収支比率の推移

自治体の財政構造の弾力性(自由度)を示す指標で、低いほど好ましい。



一般会計決算認定にあたり予算決算委員会から出された意見

底と倫理意識の喚起を図るとともに、適正な事務処理に努められたい。

時間外勤務減少のための改善策を

職員の時間外勤務手当の総額は、対前年度比2・7%増加しており、また、有給休暇の取得状況からも、職員の勤務状況や職場環境には改善の余地があると推察される。

働き方改革が叫ばれる中、職員の健康管理や家族と触れ合う機会を確保するために、職員の意識改革と職場環境の改善に取り組む必要がある。

市民の健康行動への意識付け強化を

市は、さまざまな健康増進施策を実施しているが、医療費削減に至っていない。健康クラウドは利用しないとのことだが、市民の健康行動への意識付けの強化を図られたい。

構成市の自覚をもって公立豊岡病院組合への積極的支援が必要

市は、危機的な経営状況にある公立豊岡病院組合の構成市としての自覚が必要であり、病院組合だけに任せることなく、医師確保を始め、できる限りの支援をし、積極的にかかわられたい。

加陽湿地「交流施設」の見学や利活用の改善を

加陽湿地拠点整備事業による交流施設は、休館日以外も入館できない状況が多くみられる。市民が広く利用・見学できるように改善を求めたい。

靴産業プロモーション事業等の目指す成果や目標の達成と検証を

靴産業プロモーション事業等について、目指す成果・目標に対する達成状況を明確にし、検証とともに目的達成に向けて一層の努力を求めたい。

有害獣の被害防止にさらに効果的な対策を

有害獣による農業被害の防止は、中山間地域の農業継続と農地保全上、大きな課題である。また、サルやクマによる被害も多く、被害防止対策の検討を求めたい。

各区の生活道路排水路整備の要望に対し、誠実な対応を

生活道路排水路整備事業は、2千万円の予算で各区の要望に基づき改善、改修を行う事業である。要望が多くある中で、不用額が20%相当の400万円を超え、市民に不誠実な対応と言わざるを得ない。年度当初からの事業推進を求めたい。

コワーキング豊岡の積極的PRを

コワーキング豊岡は、約9千万円の事業費で本年4月にオープンし、半年が経過したが、個人会員目標30人に対し8人、法人は1社に留まっている。市内外にPRするなど目標達成に一層の努力を求めたい。

